



## 2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月8日

上場会社名 三洋工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 5958 URL <http://www.sanyo-industries.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山岸 茂

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務部長 (氏名) 園田 崇之

TEL 03-5611-3451

四半期報告書提出予定日 2023年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	19,676	13.7	1,065	87.8	1,249	69.5	823	55.2
2022年3月期第3四半期	17,303	1.3	567	10.9	736	9.7	530	2.6

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 835百万円 (55.2%) 2022年3月期第3四半期 538百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	243.11	
2022年3月期第3四半期	156.50	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	27,235	17,689	65.0	5,262.92
2022年3月期	26,239	17,143	65.3	5,054.47

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 17,689百万円 2022年3月期 17,143百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		35.00		35.00	70.00
2023年3月期		35.00			
2023年3月期(予想)				40.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,500	8.0	800	7.7	1,100	1.5	750	2.0	223.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、(添付資料8ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期3Q	3,520,000 株	2022年3月期	3,520,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2023年3月期3Q	158,875 株	2022年3月期	128,275 株
------------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期3Q	3,388,325 株	2022年3月期3Q	3,391,725 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見直し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年4月～2022年12月)におけるわが国経済は、個人消費や設備投資、企業収益が改善し、緩やかに持ち直しの傾向を示しています。しかし、新たな変異株による新型コロナウイルス感染症の再拡大やロシア・ウクライナ情勢の緊迫化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰及び円安による物価の上昇等により、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する建築業界におきましては、新設住宅着工戸数が前年同期比でほぼ横ばいで推移しているほか、民間非居住建築物については工場や倉庫等が依然として底堅い動きを示していることなどから、全体的な建築需要は増加の傾向にありました。

こうした経営環境の中で当社グループは、持続可能な成長企業を目指し中期3ヵ年経営計画の基本経営戦略に沿って、社会的課題に対応した新製品開発の強化に注力するとともに、成長戦略商品の販売強化と設計指定活動の促進及び無人化等による生産効率の向上や経費の抑制に全力で取り組み、また材料価格の高騰に対し販売価格の改定を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は、全体の売上高は19,676百万円(前年同期比13.7%増)となりました。また、利益面におきましては、営業利益1,065百万円(前年同期比87.8%増)、経常利益1,249百万円(前年同期比69.5%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益823百万円(前年同期比55.2%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 三洋工業

主力製品群である軽量壁天井下地につきましては、戸建住宅用製品をはじめ、ビルや商業施設用の一般製品の受注量が好調に推移したことなどから、軽量壁天井下地全体の売上高は増加いたしました。

また、床システムにつきましては、デッキシステムや主力製品である学校体育館などスポーツ施設用の鋼製床下地材製品が減少したものの、マンションなど集合住宅用の遮音二重床製品やOAフロア等の受注量が堅調に推移したことなどから、床システム全体の売上高は増加となりました。

アルミ建材につきましては、ルーバーや外装パネルなどが伸長しましたが、主力製品であるアルミ笠木やエキスパンションジョイント・カバーの受注量が低調に推移したことなどから、アルミ建材全体の売上高は減少となりました。

この結果、売上高は16,378百万円(前年同期比16.1%増)、セグメント利益922百万円(前年同期比94.0%増)となりました。

## ② システム子会社

当社の子会社であるシステム会社(株式会社三洋工業九州システムほか)におきましては、床関連商品を中心に積極的な設計指定活動に取り組んでまいりました。

この結果、システム子会社全体の売上高は3,810百万円(前年同期比3.7%増)、セグメント利益47百万円(前年同期セグメント損失35百万円)となりました。

## ③ その他

その他につきましては、売上高478百万円(前年同期比15.4%減)、セグメント損失3百万円(前年同期セグメント利益31百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結累計期間末の資産合計は、主に受取手形、売掛金及び契約資産、電子記録債権が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ995百万円増加し、27,235百万円となりました。

負債につきましては、主に短期借入金が増加したものの、支払手形及び買掛金、電子記録債務が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ449百万円増加し、9,545百万円となりました。

純資産は、配当金の支出があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益を計上したことなどにより前連結会計年度末に比べ545百万円増加し、純資産合計は17,689百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期(2022年4月1日から2023年3月31日)の連結業績予想につきましては、2022年5月11日発表の数値に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,495	5,961
受取手形、売掛金及び契約資産	7,004	7,520
電子記録債権	1,555	2,026
商品及び製品	1,503	1,929
仕掛品	153	167
原材料及び貯蔵品	862	975
その他	124	83
貸倒引当金	△40	△19
流動資産合計	17,659	18,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,607	2,516
機械装置及び運搬具（純額）	437	413
土地	2,876	2,876
その他（純額）	247	254
有形固定資産合計	6,168	6,060
無形固定資産		
ソフトウェア	52	151
その他	104	25
無形固定資産合計	157	177
投資その他の資産		
投資有価証券	629	657
繰延税金資産	12	30
退職給付に係る資産	437	513
賃貸不動産（純額）	948	928
その他	240	235
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	2,254	2,352
固定資産合計	8,580	8,590
資産合計	26,239	27,235

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,911	3,350
電子記録債務	3,661	3,861
短期借入金	865	665
未払法人税等	172	258
賞与引当金	340	160
役員賞与引当金	8	6
その他	522	603
流動負債合計	8,481	8,905
固定負債		
繰延税金負債	124	123
退職給付に係る負債	43	44
その他	447	473
固定負債合計	615	640
負債合計	9,096	9,545
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,760	1,760
資本剰余金	1,168	1,168
利益剰余金	14,154	14,740
自己株式	△291	△343
株主資本合計	16,791	17,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258	278
退職給付に係る調整累計額	93	86
その他の包括利益累計額合計	352	364
純資産合計	17,143	17,689
負債純資産合計	26,239	27,235

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	17,303	19,676
売上原価	12,610	14,334
売上総利益	4,693	5,342
販売費及び一般管理費	4,125	4,277
営業利益	567	1,065
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	22	25
受取賃貸料	158	155
売電収入	30	31
その他	27	39
営業外収益合計	238	251
営業外費用		
支払利息	1	1
不動産賃貸費用	51	53
売電費用	14	13
その他	1	0
営業外費用合計	69	68
経常利益	736	1,249
特別損失		
固定資産除却損	0	5
特別損失合計	0	5
税金等調整前四半期純利益	736	1,243
法人税等	205	420
四半期純利益	530	823
親会社株主に帰属する四半期純利益	530	823



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	530	823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	19
退職給付に係る調整額	△5	△7
その他の包括利益合計	7	12
四半期包括利益	538	835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	538	835
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて記載しております。

(追加情報)

(重要な資産の譲渡)

当社は、2022年9月13日開催の取締役会において、経営資源の有効活用及び資産効率の向上を目的として、下記のとおり保有する固定資産の譲渡を決議し、2022年9月28日に不動産売買契約を締結いたしました。

(1) 譲渡する相手会社の名称

譲渡先につきましては、取引の関係上公表を控えさせていただきますが、国内事業法人1社です。当社との間に資本関係、取引関係として特記すべき事項はなく、当社の関連当事者には該当いたしません。

(2) 譲渡資産の種類、譲渡前の用途

譲渡資産の種類

土地 (663.43㎡)、建物 (1,488.66㎡)

譲渡前の用途

賃貸及び一部自用

(3) 譲渡日

2023年2月28日(予定)

(4) 譲渡価額

譲渡価額につきましては、譲渡先との取り決めにより非開示とさせていただきます。

なお、本件固定資産の譲渡に伴い、2023年3月期の第4四半期連結会計期間において、固定資産売却益約400百万円を特別利益に計上する見込みであります。